

老後の収入と支出から 将来必要な備えの目安を確認しよう

まずは老後の収入と支出を予想して、老後に不足するお金の総額を算出します。
そのうえで退職時に手元にあるお金で補填しきれない、備えが必要な金額を計算しましょう。

●退職後の収入／月

	本人	配偶者	単身者の場合
公的年金	円	円	円
企業年金	円	円	円
個人年金保険	円	円	円
その他の収入	円	円	円
計	円	円	円
合計	円	円	円 (A)

●退職後の支出

毎月の支出	年間の特別支出
基本生活費	年払い保険料 円
住居関連費	自動車保険料 円
車両費	所得税 円
娯楽費	住民税 円
社会保険料	固定資産税 円
保険料	その他() 円
その他支出	合計 円
合計 (B) 円	(C) 円

$$(A) \text{毎月の収入} \times 12 \text{ヶ月} - [(B) \text{毎月の支出} \times 12 \text{ヶ月} + (C) \text{年間の特別支出}] = (D) \text{1年間に不足するお金}$$

$$(D) \text{1年間に不足するお金} \times \text{必要年数} + \text{イベント費} = (E) \text{老後に必要なお金}$$

$$\text{退職時に手元に用意できるお金} - (E) \text{老後に必要なお金} = \text{過不足分}$$